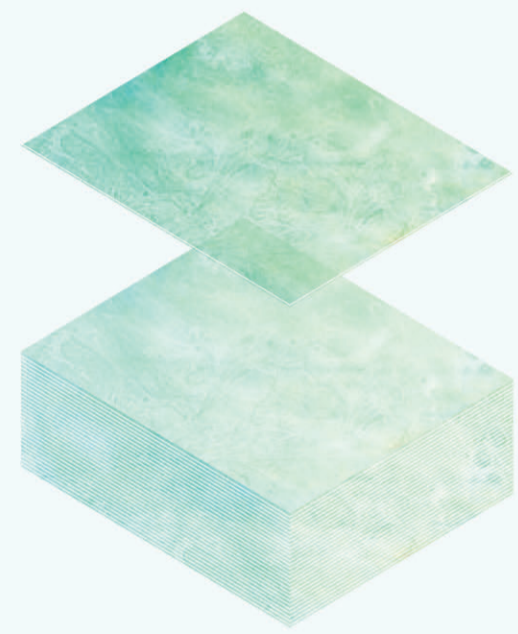


手作りできるガラスブロック

かわいさは人の手に宿る



自分の手で作るガラスブロック



00: 簡単に形が変わる極薄板ガラス



01: 一枚ずつ手に取って



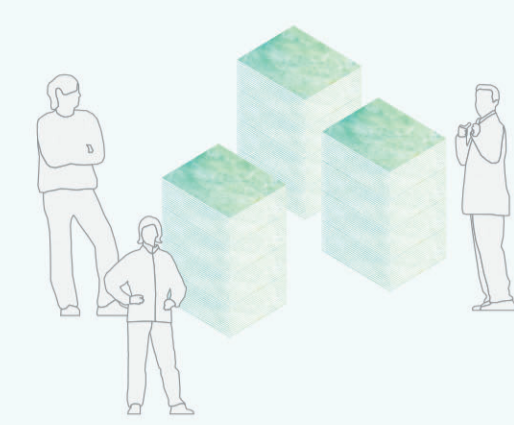
02: くしゃくしゃっと丸めて



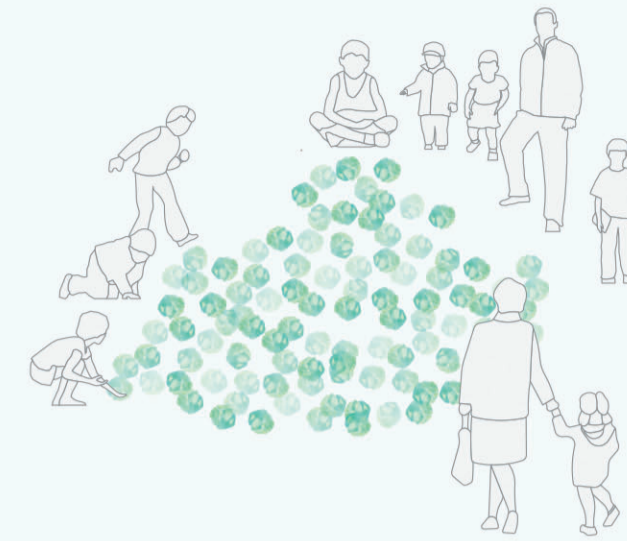
03: 形と大きさを整えれば、手作りガラスブロックの完成!

人の手から生み出されるものには独特のかわいさがあります。工業製品というカテゴリーを脱却して、ぬくもりの感じられる手作りのガラスブロックが作れないか考えました。
くしゃくしゃっと丸めて作るガラスブロックの提案です。紙のように薄くて柔らかい極薄板ガラスを応用して実現します。
ブロックを作る前は、プリンター用紙のように束にして保管します。必要なときに必要なだけ取り出してきて、丸めてガラスブロックを作ります。
お祭り用の紙花のようにみんなで集まって作り、それをみんなで積み上げることで空間が生まれます。
”みんなで作る”という行為が人と人をつないでいきます。使わなくなったガラスブロックは回収し、溶かして再び板ガラスとなります。
手作業から生まれるかわいいガラスブロックは人と人をつなげ、そして人に近い建築を生み出します。

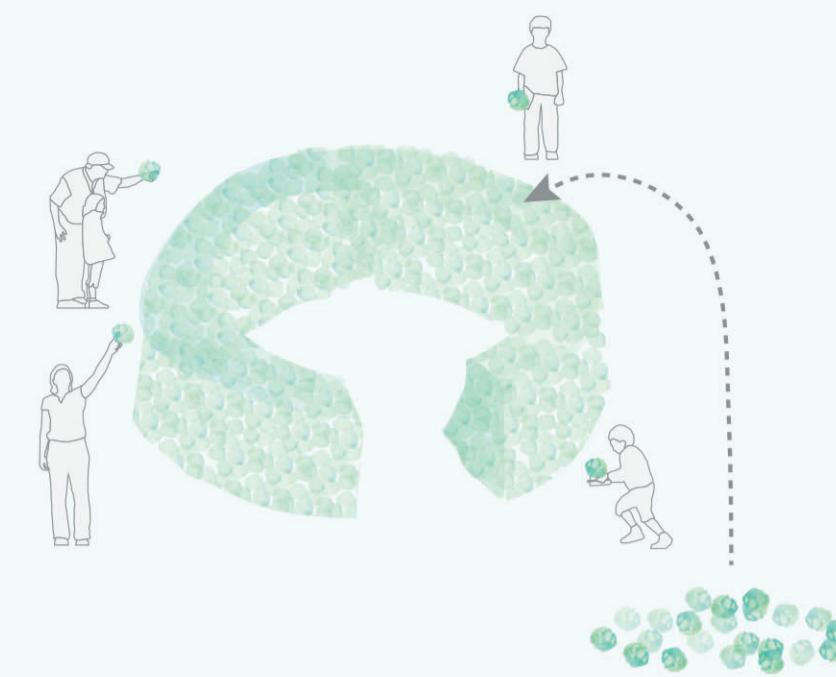
みんなで作るガラス建築



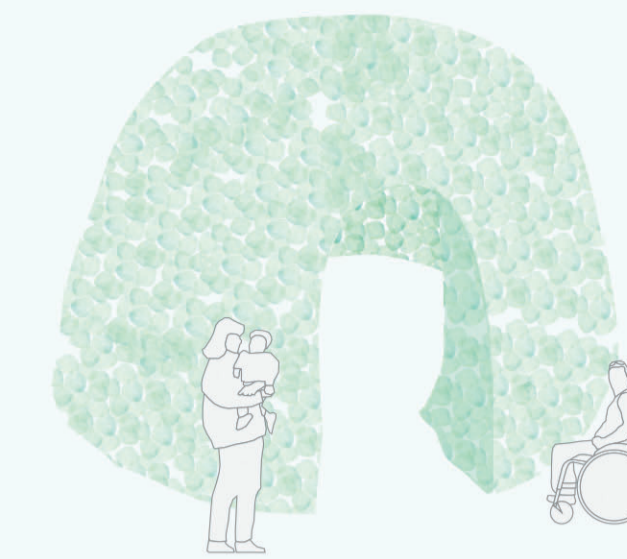
A: 極薄板ガラスを用意する



B: みんなで集まってブロックを作る



C: 作ったブロックを協力して積んでいく



D: 手作りブロックの空間ができる

薄くて柔らかい極薄板ガラス



手で折り曲げられる0.03ミリの極薄板ガラスの技術を活用して、手で加工できるガラス紙のような柔らかく形状記憶するガラスを開発する。

